



- 様々な機会を通じて、地域の皆さまとのコミュニケーション活動をおこなっています[発電所ニュース]
- 防護区域等の出入管理システムの一部機能喪失について[発電所ニュース]
- 地域の皆さまとのコミュニケーション活動をおこなっています[発電所の一員として]
- おしえて!エコロン ● YouTubeやInstagramを通じて「発電所で働く人」に密着した動画を投稿しています
- 厚生労働大臣表彰状を贈呈いただきました ● サービスホール9月の催し

「実りの棚田」
高柳町石黒

様々な機会を通じて、地域の皆さまとの コミュニケーション活動をおこなっています

地域の皆さまから信頼され、親しみを感じていただける発電所を目指し、地域の一員として地域のイベントへの参加や、発電所で働く人を身近に感じていただく活動に取り組んでいます。今回は、8月に実施したコミュニケーション活動をご紹介します。

●サービスホール夏のイベント(8月8日・9日)

2日間にわたり夏のイベントを開催し、延べ1,319名の皆さまにご来館いただきました。

会場では、「エコロンと〇×クイズ」や「コミュニケーションブース」、「発電所構内見学ツアー」などを実施し、エネルギーや発電所について楽しく学んでいただきました。



●出雲崎船まつりーコミュニケーションブースー(8月15日)

地域の皆さまのご不安や疑問にお答える「コミュニケーションブース」を出展し、176名の方にお立ち寄りいただきました。

コミュニケーションブースには発電所長の稲垣も参加し、お立ち寄りいただいた方からは「社員の方と直接話すことができてよかった」、「安全対策をしてもやっぱり不安」など、様々なご意見をいただきました。



●刈羽ふるさとまつり(8月15日)

当社社員5名が、アクアチューブなどのアクティビティの運営補助スタッフとして参加しました。子どもたちが元気いっぱい遊ぶ姿に、社員も元気をもらいました。

また、夕方に行われた盆踊りには社員22名が浴衣姿で参加し、地域の皆さまと一緒に「刈羽甚句」を踊りました。

夜の花火大会では、当社と社員有志の合同で花火を打ち上げ、会場を彩りました。

花火大会翌日には、社員21名が地域の皆さまとともに会場周辺の清掃に取り組みました。



●地域の児童クラブで夏休み電気教室を開催(7月28日～8月19日)

発電所では毎年、夏休み期間中に地域の児童クラブを訪問し、子どもたちを対象とした電気教室を開催しています。

今年は19か所の児童クラブから816名に参加いただき、エネルギーに関するクイズや実験を通じて、電気の仕組みやエネルギーの大切さについて学んでいただきました。



今後も様々な機会を通じて、地域の皆さまにエネルギーや発電所をより身近に感じていただけるよう取り組んでまいります。

防護区域等の出入管理システムの一部機能喪失について

8月20日に開催された原子力規制委員会で、2026年2月18日に発生した防護区域等の出入管理システムの一部機能喪失について、安全上の重要度「緑」※と評価されました。

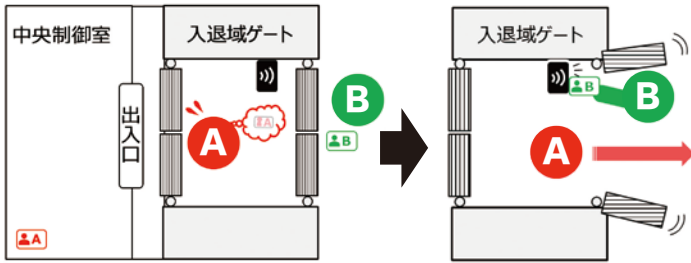
※安全上の重要度は、「赤」「黄」「白」「緑」の順に区分され、「緑」は安全確保の機能または性能への影響があるが、限定的かつ極めて小さいものであり、事業者の改善措置活動により改善が見込めるものに適用

【事象の概要】

- **運転員A**は正しい手順で中央制御室へ入域したが、退域時、自分のIDカードを中央制御室内に置いたまま入退域ゲートに入り、ゲートの中に閉じ込められる状態となった。
- 先に正しい手順で退域していた**運転員B**は慌てている**運転員A**を助けるため、自分のIDカードをゲートの外から認識装置にかざし、**運転員A**を退域させた。
- 本来、すでに退域している者が再度IDカードを使用して退域操作をおこなった場合（連続で同じ操作をおこなった場合）、ゲートが開かない仕組みとなっている。
- 本事象では、入域・退域操作を管理するシステムの不具合により、すでに退域している**運転員B**のIDカードで、**運転員A**が退域できたもの。

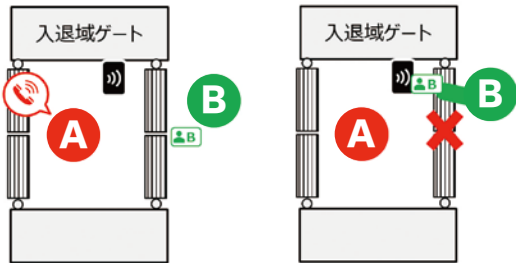
〈今回の事象〉

運転員 **B**：ゲートの外からIDカードをかざす
システム **不具合**：不具合によりゲートが開く



〈本来〉

運転員 **A**：セキュリティ担当者へ連絡
システム **不具合**：再度退域操作が行われた場合、ゲートは開かない



【原因と再発防止策】

運転員	原因	運転員Aと運転員Bは「IDカードは本人のためにしか使用できないものである」という取り扱いに関する認識が不足していた。
	再発防止策	対象者：運転員A・Bを含む、運転員全員 ● IDカードの取り扱いの再教育（2026年3月実施済） ● 今回の事象に対し、あるべき姿や行動について、事例学習の導入（2026年3月実施済）
システム	原因	● 当該システムを含む出入管理に関するセキュリティシステム全体の更新を計画し、順次、工事を進め、当該システムの不具合発生時は、ゲートの一時使用中止などで対応していた。 ● そのような中で、セキュリティシステム更新の工期が見直しとなったことや、当該システムの不具合頻度が増えてきている中で、追加対策の検討が不十分だった。
	再発防止策	● 出入管理に関するセキュリティシステム全体の更新を実施中（2028年度上期完了予定） ● 不正な出入りがおこなわれないことを常に監視する措置を実施

本件が発生したことを重く受け止め、再発防止策を実施するとともに、一過性の取り組みとならないよう改善を続けてまいります。



地域の皆さまとのコミュニケーション活動をおこなっています。

発電所では幅広い世代の方に
日本のエネルギー事情や原子力発電について
理解を深めていただくため、様々な機会を通じて
コミュニケーション活動をおこなっています。
今回は、コミュニケーション活動を担当している
社員に話を聞きました。

(2026年8月取材)

Profile

菅家 伸作

柏崎市出身。柏崎市在住。1992年入社。柏崎刈羽原子力発電所に配属され、使用済燃料の輸送や定期検査業務などに携わり、現職に至る。

【柏崎市・刈羽村でオススメしたい場所】高柳じよんのび村／露天風呂やサウナがあり、料金も手頃でお気に入りです。自宅から近いこともあり、休日は妻と温泉を楽しんでいます。



東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

広報部 地域共生総括グループ

かんけ しんさく
菅家 伸作

広報部 地域共生総括グループ

ゆだ かつひろ
湯田 克大

湯田 克大

福島県出身。柏崎市在住。2025年入社。新入社員研修を経て、現職に至る。

【柏崎市・刈羽村でオススメしたい場所】さすか／新潟の美味しいお酒や食材を豊富に取り揃えていて、どのお料理もとても美味しいです。特にお刺身がおすすめで、友人が遊びに来たときはよく利用しています。

—現在の担当業務を教えてください。

菅家 地域の皆さまから直接ご意見を伺うコミュニケーションブースの運営や、発電所所員が地域行事に参加する際の窓口を担当しています。

湯田 コミュニケーションブースの運営や、柏崎市、刈羽村、出雲崎町の子どもたちを対象とした電気教室を担当しています。

—地域の皆さまと接する機会が多いと思いますが、コミュニケーションで大切にしていることは何ですか。

菅家 コミュニケーションブースでは、日本のエネルギー事情や柏崎刈羽原子力発電所の状況など幅広いご質問をいただきます。皆さまの知りたいことやご質問に分かりやすくお答えできるよう、資料の作成など事前準備を大切にしています。また、一方的に説明するのではなく、ご意見を伺いながら対話することを心掛けています。



湯田 何気ない会話の中にも、ご不安や疑問が隠れていることがあります。そのため、相手のお話を丁寧に聴くことを大切にしています。また、学生向けにエネルギーや原子力発電を学んでいただける活動を増やしており、学生の皆さんが知りたいことや分からないことを確認しながら、説明内容を工夫しています。

—地域の皆さまとの交流の中で、印象に残っている出来事やエピソードがあれば教えてください。

菅家 コミュニケーションブースにお越しいただいた方から説明後に「聞きたかったことを、わかりやすく説明してもらい理解が深まった」とのお声をいただいたことがあります。その言葉に、大きなやりがいを感じました。

湯田 小学生向けに実施している電気教室では、子どもたちに分かりやすく伝えられるよう、資料や説明方法を工夫しています。



その中で「分かった!」という反応が返ってくると、とてもうれしく、やりがいを感じます。

—地域のつながりをさらに深めるために、今後取り組みたいことはなんですか?

菅家 デジタル化の進展に伴うデータセンターや半導体工場の新增設などにより、電力需要の増加が見込まれています。一方で、日常の生活で当たり前のように使っている電気について、考える機会は多くありません。コミュニケーションブースの中で、幅広い世代にエネルギーについて考えるきっかけを提供していきたいと考えています。

湯田 エネルギーや原子力発電は、子どもたちにとって理解が難しいテーマです。そのため、児童クラブでの電気教室に加え、今年から高校生向けに「日本のエネルギー」を考える講座の取り組みを進めています。参加した高校生からは、「なぜ今の日本に原子力発電が必要なのか、さまざまな発電方法をバランスよく活用する大切さが分かった」といった声もいただきました。この活動が、エネルギー問題を身近に考えるきっかけになればと思っています。



—柏崎刈羽原子力発電所で働く一員として地域の皆さまへメッセージをお願いします。

菅家 コミュニケーションブースや地域行事への参加を通じて、引き続き地域の皆さまの疑問やご不安などをお聴きし、一つひとつ丁寧にお答えすることで地域の安心・安全につながるよう取り組んでいきます。

湯田 将来を担う学生の皆さんにも、エネルギーや原子力発電に興味・関心を持っていただけるよう、分かりやすい説明を心掛けていきます。また、発電所で働く人を身近に感じていただけるよう、コミュニケーション活動に取り組んでいきます。

おしえて! エコロン

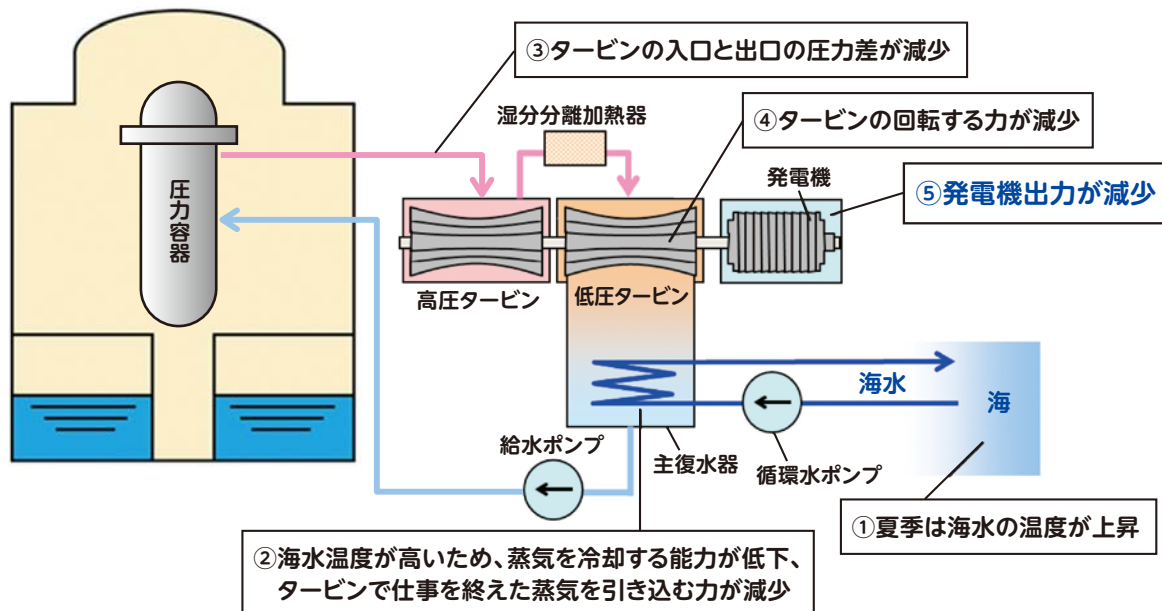


Q 海水温度が上がると発電機出力が下がると聞いたけど、どうしてなの?

A 原子力発電は、核分裂反応の際に発生する熱で水を沸騰させて蒸気を作り、その蒸気でタービンを回し、発電機で電気を作っています。タービンを回し終えた蒸気は、主復水器において海水で間接的に冷やして水に戻し、再び原子炉に送られます。

蒸気の冷却について、夏は海水温度が高いため、蒸気を冷やす(凝縮する)力が弱まり、タービンで仕事を終えた蒸気を引き込む力が減少します。そのため、タービンを回す力が弱まり、発電機出力もわずかに減少します。

【タービン・発電機と復水器の関係】



Q 海水温度が高くなると、運転している原子炉に影響はあるの?

A 海水温度が上昇しても、原子炉の通常運転には支障ありません。一方で、著しい上昇は安全対策設備の冷却が十分におこなえず、設備の性能を十分に発揮できない可能性があります。

そのため、当社が自主的に設定した海水温度の基準を上回った場合は、万が一の事故などの設備影響などを踏まえ、原子力安全の観点から運転を一時的に停止します。

なお、基準に到達したとしても、直ちに安全対策設備が性能を発揮できないなどの悪影響があるわけではありません。

【自主的に設定した基準】

- 海水温度の7日間移動平均※が32.9℃を超えた場合
- 海水温度が34℃以上を観測した場合
- 海水温度が33℃以上の状態で12時間連続した場合

※1時間ごとに7日間の平均を更新すること

YouTubeやInstagramを通じて「発電所で働く人」に密着した動画を投稿しています

今回は『2年目社員に密着!～燃料グループ・小山夕菜～』を紹介します。

入社2年目の社員が真剣な表情で現場対応や机上業務に取り組む姿、同期と過ごす何気ない昼休みの様子まで盛りだくさんの内容となっています。ぜひ最後までご覧ください。



YouTube



Instagram



厚生労働大臣表彰状を贈呈いただきました

柏崎刈羽原子力発電所企業協議会※では、社会貢献活動の一環として1993年から定期的に献血への協力をおこなっています。このたび、長年にわたる献血の推進活動に対して、「令和8年度献血運動推進協力団体等厚生労働大臣表彰状」を贈呈いただきました。献血は、病気やけがの治療に必要な血液を安定的に確保し、多くの方々の命を支える大切な活動です。これからも、地域社会や医療を支える活動に積極的に取り組み、社会に貢献してまいります。

※発電所の安全で円滑な運営を目的に、当社および協力企業が設立した組織



Webアンケートはこちら

添付のはがきのほかに、Webからでもアンケートにご回答いただけます。右の二次元コードからアクセスしてください。発電所に対するご意見・ご要望もご記入いただけます。



発電所公式 LINE アカウント

イベント情報やクーポンなどを毎月配信中!



きりとり線



発電所公式 Instagram

発電所の日常や設備などについて、リール動画などで投稿しています!



① 今月号の気になった記事について感想やご意見をお聞かせください。

② 今後のニュースアトムで知りたい内容はありますか。

③ ニュースアトムや日頃の東京電力の活動を通じて、東京電力に対して親しみを持てますか。

- ☐ 親しみを持てる
 ☐ まあ親しみを持てる
☐ あまり親しみを持てない
 ☐ 親しみを持てない
 (理由をお聞かせください)

■ 読者プレゼントに応募する

ご希望の方は右の欄に○をお付けください。



Webアンケートでご応募いただくと、当選確率がUPします。

※裏面のお名前、年齢、ご住所、電話番号を必ずご記入ください。
なお、ご記入いただく内容については、お間違いないようお願いいたします。

サービスホール9月の催し

参加無料

工作教室

土・日・祝開催 9時～16時30分
※12時～13時を除く

3種類の工作をご用意♪

難易度に合わせて、小さなお子さまでも
楽しくチャレンジできます。



難易度★
アイドルなりきり
ブレスレット



難易度★★
フルーツこま



難易度★★★
タマゴからこんにちは



お問い合わせ／柏崎刈羽原子力発電所サービスホール TEL.0120-344-053(9時～17時)



料金受取人払郵便



差出有効期間
2026年11月30日
まで
(切手不要)

郵便はがき

9458790

柏崎市青山町16番地 46

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
広報部 行



ふりがな 年齢 歳

お名前 男・女・回答しない

〒

ご住所

電話番号

ご記入いただきました内容については、商品の発送、紙面づくり等に利用いたします。
また、個人情報については適切に管理いたします。(2026年9月号)

発電所で働く人 (2026年8月1日時点)

現在、柏崎刈羽原子力発電所で働いている人は6,705人で、
そのうち、約7割が新潟県在住者です。

■東京電力ホールディングス(人) ■協力企業(787社) (人)

県内 在住者	柏崎市	834	県内 在住者	柏崎市	2,305
	刈羽村	63		刈羽村	229
	その他	169		その他	1,381
県外在住者		122	県外在住者		1,602
《合計》		1,188	《合計》		5,517

ニュースアトムは、発電所広報施設(サービスホール、
カムフィ、き・な・せ)に配置しています。ご自由にお持
ちください。また、発電所ホームページでもご覧いた
だけます。



今月号の表紙／「実りの棚田」

撮影場所：高柳町石黒
撮影時期：2022年9月



2026年9月13日発行

●編集発行責任者
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部
企画広報グループマネージャー
〒945-8601
柏崎市青山町16番地46
☎0120-120-448
(平日9時～17時)

《検索》

柏崎刈羽原子力発電所 🔍